

イ 競技日程

1日目 8月17日(日)

1	女子	400m	自由形	(予選)	8	女子	200m	個人メドレー	(決勝)
2	男子	400m	自由形	(予選)	9	男子	200m	個人メドレー	(決勝)
3	女子	200m	個人メドレー	(予選)	10	女子	400m	自由形	(決勝)
4	男子	200m	個人メドレー	(予選)	11	男子	400m	自由形	(決勝)
5	女子	200m	平泳ぎ	(予選)	12	女子	200m	平泳ぎ	(決勝)
6	男子	200m	平泳ぎ	(予選)	13	男子	200m	平泳ぎ	(決勝)
7	男子	400m	リレー	(予選)	14	男子	400m	リレー	(決勝)

2日目 8月18日(月)

15	女子	50m	自由形	(予選)	25	女子	50m	自由形	(決勝)
16	男子	50m	自由形	(予選)	26	男子	50m	自由形	(決勝)
17	女子	200m	バタフライ	(予選)	27	女子	200m	バタフライ	(決勝)
18	男子	200m	バタフライ	(予選)	28	男子	200m	バタフライ	(決勝)
19	女子	200m	自由形	(予選)	29	女子	200m	自由形	(決勝)
20	男子	200m	自由形	(予選)	30	男子	200m	自由形	(決勝)
21	女子	100m	背泳ぎ	(予選)	31	女子	100m	背泳ぎ	(決勝)
22	男子	100m	背泳ぎ	(予選)	32	男子	100m	背泳ぎ	(決勝)
23	女子	800m	自由形	(予選)					
24	男子	1500m	自由形	(予選)					

3日目 8月19日(火)

33	女子	400m	メドレーリレー	(予選)	41	女子	800m	自由形	(決勝)
34	男子	400m	メドレーリレー	(予選)	42	男子	1500m	自由形	(決勝)
35	女子	400m	個人メドレー	(予選)	43	女子	100m	自由形	(決勝)
36	男子	400m	個人メドレー	(予選)	44	男子	100m	自由形	(決勝)
37	女子	100m	自由形	(予選)	45	女子	200m	背泳ぎ	(決勝)
38	男子	100m	自由形	(予選)	46	男子	200m	背泳ぎ	(決勝)
39	女子	200m	背泳ぎ	(予選)	47	女子	400m	個人メドレー	(決勝)
40	男子	200m	背泳ぎ	(予選)	48	男子	400m	個人メドレー	(決勝)
					49	女子	400m	メドレーリレー	(決勝)
					50	男子	400m	メドレーリレー	(決勝)

4日目 8月20日(水)

51	女子	400m	リレー	(予選)	57	女子	100m	バタフライ	(決勝)
52	男子	800m	リレー	(予選)	58	男子	100m	バタフライ	(決勝)
53	女子	100m	バタフライ	(予選)	59	女子	100m	平泳ぎ	(決勝)
54	男子	100m	バタフライ	(予選)	60	男子	100m	平泳ぎ	(決勝)
55	女子	100m	平泳ぎ	(予選)	61	女子	400m	リレー	(決勝)
56	男子	100m	平泳ぎ	(予選)	62	男子	800m	リレー	(決勝)

(注) リレー種目の前に表彰式終了後 15分程度の休憩を入れる。

(2) 飛 込

ア 競技種目

(ア) 男子の部

・ 3 m 飛板飛込	11 演技種目 制限選択飛 (難易率合計 9.5 以内) 自由選択飛	各群より 5 演技種目 各群より 6 演技種目
・ 高 飛 込	10 演技種目 制限選択飛 (難易率合計 7.6 以内) 自由選択飛	異群より 4 演技種目 各群より 6 演技種目

(イ) 女子の部

・ 3 m 飛板飛込	10 演技種目 制限選択飛 (難易率合計 9.5 以内) 自由選択飛	各群より 5 演技種目 各群より 5 演技種目
・ 高 飛 込	9 演技種目 制限選択飛 (難易率合計 7.6 以内) 自由選択飛	異群より 4 演技種目 異群より 5 演技種目

イ 競技方法

- (ア) 参加選手 16 名以上の競技種目は予選を行う。
- (イ) 予選における演技種目は自由選択飛とする。
- (ウ) 決勝進出者は予選上位 12 位までの選手とする。
- (エ) 決勝における自由選択飛演技種目は予選と同一同順とする。
- (オ) 順位の決定は決勝の得点合計によって行う。

ウ 競技日程

1 日目	8 月 17 日 (日)	女子高 飛 込 (予選・決勝)
2 日目	8 月 18 日 (月)	男子飛板飛込 (予選・決勝)
3 日目	8 月 19 日 (火)	女子飛板飛込 (予選・決勝)
4 日目	8 月 20 日 (水)	男子高 飛 込 (予選・決勝)

(3) 水 球

ア 競技日程

1 日目	8 月 17 日 (日)	トーナメント 1 回戦、2 回戦	(6 試合)
2 日目	8 月 18 日 (月)	トーナメント 2 回戦	(6 試合)
3 日目	8 月 19 日 (火)	準々決勝・準決勝	(6 試合)
4 日目	8 月 20 日 (水)	3 位決定戦・決勝	(2 試合)

4. 競技規定

(財)日本水泳連盟競技規則による。

5. 競技方法

学校対抗とし、選手権獲得校の決定方法は、下記による。

(1) 競 泳

個人種目は 1 位 8 点、2 位 7 点、…… 8 位 1 点とし、リレー種目は 1 位 16 点、2 位 14 点、…… 8 位 2 点とする。同順位の場合は、その順位の得点をそれぞれに与える。総得点の最も多い学校を優勝校とする。

総得点が同じ場合は、次の順序に従って順位を決定する。

ア リレーによる得点の多い学校

イ 入賞者数の多い学校 (ただし、リレーは 4 と計算する)

ウ 1位の数

エ 2位の数(以下、8位までこれにならう)

(2) 飛 込

個人種目は1位8点、2位7点、……8位1点とし、総得点の最も多い学校を優勝校とする。

総得点と同じ場合は、次の順序に従って順位を決定する。

ア 入賞者の多い学校

イ 1位の数

ウ 2位の数(以下、8位までこれにならう)

エ 当該入賞者の得点の平均点が高い者のいる学校(平均点は少数第3位を四捨五入し、少数第2位まで算出する)

オ 当該入賞者の得点の中で、1種目について最も高い数値を得た者のいる学校

(3) 水 球

ア 全試合をトーナメントで行う(3位決定戦も行う)

なお、前年度成績上位4チームをシードし、組合せは公開抽選を行う

イ 水球の競技時間については、7分4ピリオドとする。またピリオド間は2分間とする。

ウ 全試合、同点の場合は、5分間の休憩の後、延長戦(3分-2分-3分)を1回行う。延長戦を行っても、なお同点の場合は、ペナルティーシュート合戦により勝敗を決定する。

6. 引率・監督について

(1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。

個人の場合は、校長の認める学校の職員とする。

(2) 監督・コーチ等は、校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は、傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。

7. 参加資格

(1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。

(2) 選手は、都道府県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、平成20年(2008年)度(財)日本水泳連盟競技者登録を完了した者に限る。

(3) 年齢は平成元年4月2日以降に生まれたものとする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。

(4) チーム編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。

(5) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。

(6) 第1学年を除き、在学1年未満の者は、参加を認めない。なお、第1学年でも学年の途中で編入した者は認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)

ただし、一家転住などやむを得ない場合は、各都道府県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。

(7) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長および所属する各都道府県高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。

(8) 参加資格の特例

ア 参加資格(1)・(2)に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、都道府県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。

イ 参加資格(3)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。

〔大会参加資格の別途に定める規定〕

1 学校教育法第 82 条の 2 および 83 条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。

2 以下の条件を具備すること。

(1) 大会参加資格を認める条件

ア．全国高等学校体育連盟の目的および永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。

イ．参加を希望する専修学校および各種学校にあつては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。

ウ．各学校にあつては、都道府県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。

エ．各学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。

(2) 大会参加に際し守るべき条件

ア．全国高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

イ．大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。

ウ．大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

(9) 前記(1)～(8)項の他、次の項によって参加資格を得た者。

ア 競 泳

(ア) 地域大会において、各決勝種目 3 位までの入賞者またはチーム。

(イ) 地域大会において、予選および決勝を問わず全国大会の標準記録を突破した者またはチーム。

なお、同タイムも含むものとする。

(ア)、(イ)の確認事項

注 1 個人種目では、必ずフラットレースで標準記録を突破しなければならない。途中時間やリレーの第 1 泳者による正式時間の記録では標準記録の突破とは認められない。

注 2 都府県大会の記録で出場することは認められない。

注 3 決勝における正当な理由のない棄権者の参加は認めない。

注 4 リレー、メドレーリレーは、地域大会における予選・決勝・予選と決勝で出場資格を得たメンバーの中から 4 名と、別に補欠 1 名を申し込むことができる。

ただし、競技の際は個人種目に出場する者と交代させることができる。

注 5 全国大会へのエントリータイムは、地域大会の予選・決勝のうち速いタイムとする。

(ウ) 各都府県特別措置

地域大会において、全国大会の出場資格を得なかった都府県は、男女各 1 名を 1 種目のみ、出場資格者として各都府県の高体連および加盟団体で推薦することができる。出場資格者の男女一方が欠けている場合は、欠けている方について 1 名 1 種目の推薦を認める。

注 1 推薦は、自由形、平泳ぎ、バタフライ、背泳ぎの 100m・200m および 200m 個人メドレー、50m 自由形の種目中から、地域大会において全国大会の標準記録に最も近い記録をマークした者とする。

(I) 全国大会開催都府県特別措置

開催都府県で、自由形、平泳ぎ、バタフライ、背泳ぎの 100m・200m および 200m 個人メドレー、50m 自由形の種目において出場資格を得る者がいなかった場合は、地域大会の上記該当種目に出場した最上位の者、男女各 1 名を、大会出場者として全国大会開催都府県の高体連および加盟団体で推薦することができる。

北海道は、1 道 1 地域のため、ウ、エの特別措置の対象とはならない。

(オ) 全国大会特別出場措置

選手が国際大会などの代表選手に選ばれたため、予選会に出場することができない場合は、予選会への出場を免除する。ただし、その理由書を都道府県委員長に提出すること。届出者は、当該学校長とする。このことに関する出場措置は、次のように行う。

- ・予選会不出場、全国大会出場の場合は、地域大会3位まで+派遣選手とする。
 - ・予選会出場、全国大会不出場の場合は、繰上げを行い、地域の出場者を3名とする。
- (注) 各都道府県内の予選会から、代表選手を参加制限の人数の中を含めなければならない。

(カ) 標準記録

種 目	男 子	女 子	
自 由 形	50m	24.8	27.7
	100m	54.0	59.3
	200m	1:57.4	2:09.6
	400m	4:09.7	4:30.0
	800m	-	9:15.7
	1500m	16:37.7	-
背 泳 ぎ	100m	1:00.4	1:06.2
	200m	2:11.0	2:21.7
平 泳 ぎ	100m	1:06.7	1:14.8
	200m	2:24.5	2:40.8
バ タ フ ラ イ	100m	57.6	1:04.2
	200m	2:07.3	2:20.4
個人メドレー	200m	2:11.7	2:24.9
	400m	4:41.5	5:06.7
リ レ -	400m	3:42.7	4:07.6
	800m	8:04.1	-
メドレーリレー	400m	4:05.2	4:34.5

イ 飛 込

(ア) 地域大会において、各競技種目の第1位の者。

(イ) 下記順位までのうち、標準点数を突破した者(同点可)。

北海道 上位3位まで 北信越 上位6位まで 中 国 上位6位まで
 東 北 上位3位まで 東 海 上位6位まで 四 国 上位3位まで
 関 東 上位6位まで 近 畿 上位6位まで 九 州 上位3位まで

審判員は各ブロックにおける、A級またはB級・C級審判員によって構成される。
 (C級審判員は(財)日本水泳連盟飛込委員会の承認を受けること)

(ウ) 標準点数

種 目	性 別	
	男 子	女 子
飛板飛込(3m)	11演技 305.00	10演技 270.00
高飛込	10演技 270.00	9演技 245.00

(I) 全国大会開催都道府県特別措置

地域大会において、開催都道府県に出場者が得られなかった場合、その該当競技種目において成績上位の選手男女各1名を、全国大会開催都道府県の高体連および加盟団体で推薦することができる。

(オ) 全国大会特別出場措置

国際水泳競技大会の代表選手は、都道府県・地域大会を経なくとも出場できる。
このことに関する出場措置は、次のように行う。

- ・予選会不出場、全国大会出場の場合は、地域大会出場者枠 + 派遣選手とする。
 - ・予選会出場、全国大会不出場の場合は、繰上げを行い、地域大会出場者枠の人数とする。
- (注) 各都道府県内の予選会から、代表選手を参加制限の人数の中に含めなければならない。

ウ 水 球

(ア) 地域大会の成績によって、次のチームが本大会に出場できる。

北海道・東北	上位 2 位まで	近	畿	上位 3 位まで		
関	東	上位 4 位まで	中	国	上位 2 位まで	
北	信	越	上位 2 位まで	四	国	上位 1 位
東	海	上位 2 位まで	九	州	上位 3 位まで	

(イ) 上記のチームの他に、開催都道府県にチームがある場合は、開催都道府県枠として 1 チームを加えることができる。

注 1 開催都道府県枠のチームの選考は、地域大会の成績により決定する。

注 2 地域大会において、開催都道府県枠のチームが地域枠に入った場合は、地域大会の成績が地域枠の次の順位のチームを繰り上げ、地域枠 + 1 チームとする。

(ウ) 地域大会出場チーム数が地域枠の数に満たない場合でも試合を行い、順位を決める。

(エ) 開催都道府県のチームが不出場の場合、並びに地域予選に出場するチーム数が地域枠に満たない場合は、(財)全国高体連水泳専門部と(財)日本水泳連盟において協議し、全国大会は 20 チーム参加とする。

8. 参加制限

(1) 競 泳

1 校 1 種目 3 名以内、1 名 2 種目以内 (ただし、リレーを除く) とする。

(2) 飛 込

1 校 1 種目 3 名以内とする。

(3) 水 球

1 チーム、監督 1 名、選手 13 名以内とする。

9. 参加申込み

(1) 競 泳

ア. 申込書類等

A. 競泳 (男女別) 参加種目別一覧表および学校長認知書 (4 枚複写)

1. 全国大会会場地事務局送付用 (複写 1 枚目)

2. 宿泊申込書添付用 (複写 2 枚目)

3. 各都道府県高体連事務局送付用 (複写 3 枚目)

4. 地域大会主管団体提出用 (複写 4 枚目)

B. 参加校別選手数一覧及び参加料納入書 (2 枚複写)

1. 全国大会会場地事務局送付用 (複写 1 枚目)

2. 各都道府県高体連水泳専門部保管用 (複写 2 枚目)

C. フロッピーディスクデータ 3 部作成 (2 枚 1 セット)

1. リザルトデータシステムにて 3 位入賞および標準記録突破処理をした SCM 形式データ (1 枚目)

2. 大会バックアップデータ (全データ) リザルト形式 (2 枚目)

イ．申込み方法

(ア)参加校が作成・手続・保管するもの

A．「競泳（男女別）参加種目別一覧表および学校長認知書」

全国大会への参加資格を取得した選手またはチームは「A．競泳（男女別）参加種目別一覧表および学校長認知書」（以下「学校長認知書」という）を作成し、地域大会の期間中に、「地域大会主管団体提出用」（複写4枚目）を地域大会主管団体に提出用し、残り3枚は持ち帰る。

引率者・リレー種目の補欠については、原則記入とするが各都道府県高体連水泳専門部へ提出する際に記入してもよい。

持ち帰った「学校長認知書」（複写1、2、3枚目）を地域大会終了後、各都道府県高体連水泳専門部によって定められた申込日に提出する。

(イ)各都道府県高体連水泳専門部が作成・保管するもの

B．「参加校別選手数一覧および参加料納入書」

参加申込み日に作成し、2枚目を保管するとともに、1枚目は参加料の銀行振込通知書（副）を添えて全国大会会場地事務局（以下「会場地事務局」という）に送付する。

A．「学校長認知書」

各学校が作成した「学校長認知書」のうち「会場地事務局送付用」（複写1枚目）を会場地事務局へ、「宿泊申込書添付用」（複写2枚目）を宿泊申込書に添付し、宿泊申込先へ、「各都道府県高体連事務局送付用」（複写3枚目）を各都道府県高体連事務局へそれぞれ送付する。2部コピーし、1部は参加校に返却し、1部は各専門部の控えとする。

(ウ)地域大会主管団体が作成・保管するもの

A．「学校長認知書」

地域大会の期間中に参加校から提出された「学校長認知書」（複写1、2、3枚目）の内容を確認し、3枚を参加校に返却し、「地域大会主管団体提出用」（複写4枚目）を受け取り、保管する。

C．「フロッピーディスクデータ」

3部（2枚1セット）作成し、1部を保管し、他の2部は会場地事務局と（財）日本水泳連盟にそれぞれ1部ずつをプリントアウトした用紙と一緒に送付する。

C．フロッピーディスクデータの会場地事務局分については、地域大会終了後3日以内に会場地事務局に送付し、正常に読み取り処理ができたことを確認すること。

(2) 飛 込

ア 申込み書類等

A 飛込（男女別）参加種目別一覧表および学校長認知書（4枚複写）

B 参加校別選手数一覧および参加料納入書（2枚複写）

C 飛込（男女別）参加申込書（3枚複写）

ただし、地域大会における飛込競技記録 飛込報告用紙の写し（副）... 2枚複写 の1通を必ず添付すること。（添付のないものは、受け付けない。）

イ 申込み方法

（注）申込書類A・Bの送付については、各都道府県の高等学校体育連盟（以下、この項においては「高体連」という。）水泳専門部委員長が一括して手続をし、Cについては地域大会責任者（（財）全国高体連水泳専門部常任委員又は地域飛込責任者）が一括して手続をすること。

(ア)参加校が作成・手続き・保管するもの。

・ A「飛込（男女別）参加種目別一覧表および学校長認知書」

地域大会終了後、各都道府県高体連水泳専門部によって定められた申込み日に提出し、返却された1部を保管する。

(イ) 各都道府県高体連水泳専門部が作成・保管するもの。

・ B 「参加校別選手数一覧および参加料納入書」

参加申込み日に作成し、1部を保管するとともに、1部は参加料の銀行振込通知書(副)を添えて全国大会会場地市町村実行委員会事務局(以下「会場地事務局」という。)に送付する。

・ A 「学校長認知書」

各学校が作成した「学校長認知書」4部の内、1部を各学校に返却し、1部を宿泊申込書に添付する。他の2部は、会場地事務局と各都道府県高体連事務局にそれぞれ1部ずつ送付する。

申込み期日に届かないと思われる場合には、地域大会責任者の印にて先に申し込み、後日、学校長印にて、各都道府県高体連水泳専門部委員長(部長)が正式に申し込むこと。

(ウ) 地域大会主管団体が作成・保管するもの。

・ C 「飛込(男女別)参加申込書」

3枚複写を作成し、1部を保管する。他の2部は会場地事務局と(財)日本水泳連盟にそれぞれ1部ずつ送付する。

飛込演技種目申込手続きについて

飛込参加者は、規定の飛込演技種目申込用紙ならびに計算用紙に自分が行おうとする飛込演技種目の番号、名称、型、飛板または台の高さ、難易率を記入して、それぞれの当該競技の前日12時から15時までの間に、飛込プールサイドの「種目申込用紙入れ」の箱に投函すること。なお、予選用および決勝用を必ず同時に提出すること。

(3) 水 球

ア 申込み書類等

A 水球参加選手一覧表および学校長認知書 (4枚複写)

B 参加校別選手数一覧表および参加料納入書 (2枚複写)

C 水球チーム別参加申込書 (3枚複写)

イ 申込み方法

(注) 申込み書類A・Bの送付については、各都道府県の高等学校体育連盟(以下、この項においては「高体連」という)水泳専門部委員長が一括して手続きをし、Cについては地域大会責任者(財)全国高体連水泳専門部常任委員又は地域水球責任者)が一括して手続きをすること。

(ア) 参加校が作成・手続き・保管するもの。

・ A 「水球参加選手一覧表および学校長認知書」

地域大会終了後、各都道府県高体連水泳専門部によって定められた申し込み日に提出し、返却された1部を保管する。

(イ) 各都道府県高体連水泳専門部が作成・保管するもの。

・ B 「参加校別選手数一覧および参加料納入書」

参加申込み日に作成し、1部を保管するとともに、1部は参加料の銀行振込通知書(副)を添えて全国大会会場地市町村実行委員会事務局(以下「会場地事務局」という。)に送付する。

・ A 「学校長認知書」

各学校が作成した「学校長認知書」4部のうち、1部を各学校に返却し、1部を宿泊申込書に添付する。他の2部は、会場地事務局と各都道府県高体連事務局にそれぞれ1部ずつ送付する。

申込み期日に届かないと思われる場合には、地域大会責任者の印にて先に申し込み、後日、学校長印にて、各都道府県高体連水泳専門部委員長(部長)が正式に申し込むこと。

(ウ) 地域大会主管団体が作成・保管するもの。

・ C 「水球チーム別参加申込書」

3枚複写を作成し、1部を保管する。他の2部は会場地事務局と(財)日本水泳連盟にそれぞれ1部ずつ送付する。

参加申込書の選手登録番号は、試合におけるメンバー表の番号と同一であること。

(I) 参加申込後(怪我・病気)の選手交代について

監督者会議の3日前までに、会場地事務局宛に参加校保管の学校長認知書を訂正し診断書を添えて申込む。

(4) 申込み場所

ア (財)日本水泳連盟

〒150-8050 東京都渋谷区神南1丁目1番1号 岸記念体育会館内
(財)日本水泳連盟 日本高等学校選手権水泳競技大会係
TEL 03 - 3481 - 2306

イ 会場地事務局

(ア)競泳・飛込 〒332-8601 埼玉県川口市青木2丁目1番1号 川口市教育局体育課内
平成20年度全国高等学校総合体育大会
川口市実行委員会事務局 競泳・飛込担当
TEL 048 - 258 - 4087 FAX 048 - 257 - 5111

(イ)水球 〒330-9588 埼玉県さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号 本庁舎第二別館
平成20年度全国高等学校総合体育大会
さいたま市実行委員会事務局 水球担当
TEL 048 - 829 - 1734 FAX 048 - 829 - 1940

(5) 申込み期日 8月1日(金) 正午必着

競泳のデータフロッピーの提出期限は、地域大会終了後3日以内とする。

ア. 地域大会終了後、各都道府県高等学校体育連盟水泳専門部委員長は、本大会選手数を、当該都道府県高等学校体育連盟事務局に届け出ることを義務とする。

イ. 申込みについては、必ず書留・郵便で送付すること。

10. 参加料

(1) 競泳・飛込 1人 2,500円
水球 1チーム 23,000円

(2) 納入方法

各都道府県高等学校体育連盟水泳専門部委員長が取りまとめ、所定の銀行振込用紙を用いて下記の口座に振り込むこと。

(3) 振込先

ア 競泳

指定銀行	青木信用金庫 本店営業部
口座番号	普通 3248237
口座名義	平成20年度全国高等学校総合体育大会 水泳(競泳)競技 川口市実行委員会 会長 岡村 幸四郎

イ 飛込

指定銀行	青木信用金庫 本店営業部
口座番号	普通 3248229
口座名義	平成20年度全国高等学校総合体育大会 水泳(飛込)競技 川口市実行委員会 会長 岡村 幸四郎

ウ 水 球

指 定 銀 行	埼玉りそな銀行 さいたま営業部 店番号500
口 座 番 号	普通 3955480
口 座 名 義	平成20年度全国高等学校総合体育大会 水泳(水球)競技 さいたま市実行委員会 会長 相川 宗一

11. 表 彰

優秀な成績を収めた者を表彰する。

(1) 競 泳

ア 男女とも各種目3位までに賞状およびメダルを授与し、その榮譽を称える。また4位から8位までには賞状を授与する。

イ 総合成績

男女とも優勝校および2位・3位の学校を表彰し、その榮譽を称える。また4位から8位までの学校には賞状を授与する。

優勝校には優勝杯を授与する。

男子 高松宮殿下杯・(財)全国高等学校体育連盟会長杯・文部科学大臣杯・NHK盾

女子 高松宮妃殿下杯・(財)全国高等学校体育連盟会長杯・文部科学大臣杯・NHK盾

ウ 前年度優勝校にはレプリカを授与する。

(2) 飛 込

ア 男女とも各種目3位までに賞状およびメダルを授与し、その榮譽を称える。また、4位から8位までには賞状を授与する。

イ 総合成績

男女とも優勝校および2位・3位の学校を表彰し、その榮譽を称える。

優勝校には優勝杯を授与する。

男子 (財)全国高等学校体育連盟会長杯・(財)日本水泳連盟会長杯・文部科学大臣杯・NHK盾

女子 (財)全国高等学校体育連盟会長杯・(財)日本水泳連盟会長杯・文部科学大臣杯・NHK盾

ウ 前年度優勝校にはレプリカを授与する。

(3) 水 球

ア 3位までに賞状およびメダルを授与しその榮譽を称える。4位には賞状を授与する。

イ 優勝校には優勝杯を授与する。

(財)全国高等学校体育連盟会長杯・(財)日本水泳連盟会長杯・文部科学大臣杯・NHK盾

ウ 前年度優勝校にはレプリカを授与する。

12. 組合せ

(1) 競 泳

7月28日(月)～8月4日(月) 川口市青木町公園総合運動場プール会議室において組み合わせを行う。

(2) 飛 込

8月4日(月)10時より 川口市青木町公園総合運動場プール会議室において組み合わせを行う。

(3) 水 球

8月4日(月)13時30分より 川口市立婦人会館3階会議室において公開抽選を行う。

13. 宿 泊

(1) 選手・監督、大会役員及び競技役員の宿舎は、埼玉県実行委員会が準備し配宿する。

(2) 選手・監督、役員等の宿泊は、下記の申込方法により配宿センターに申し込まなければならない。なお、開催県及び近隣の都県等で宿泊の必要がない場合はこの限りでない。

(3) 宿泊料金

宿泊料金は、原則として下記のとおりとする。ただし、下記の料金によりがたい場合は、宿泊施設A

の料金を上限として別途定めることができる。

区 分		宿 泊 料 金				
		宿泊施設 A	宿泊施設 B	宿泊施設 C	宿泊施設 D	宿泊施設 E
選手・監督	1泊夕・朝食	12,810円	11,760円	10,710円	9,135円	8,085円
役員等	1泊夕・朝食	13,650円	12,600円	11,550円	9,975円	8,925円

宿泊料金には消費税及び奉仕料を含む。

入湯税及び東京都宿泊税が課税される場合は、当該税額が別途加算される。

選手・監督は、弁当を申し込んだ場合、弁当料金 840 円（税込）を別に支払う。

(4) 申込書類 「彩夏到来 08 埼玉総体」ホームページの中の宿泊申込関係書類（イは除く）に入力後、印刷したものを提出すること。

ア 宿泊申込書（原本 1 枚、コピー 1 枚）

イ 参加申込書の写し

ウ 交通手段意向調査（原本 1 枚、コピー 1 枚）

(5) 申込方法

ア 選手・監督の宿泊申込については、申込責任者は所定の宿泊申込書に必要な事項を記入し、前記(4)のイ、ウを添えて各都道府県高等学校体育連盟競技種目別専門部に提出する。

併せて、宿泊申込書をインターネットにより下記申込先へ送信する。なお、送信方法の詳細については、「参加者へのご案内（宿泊編）」を参照のこと。

イ 各都道府県高等学校体育連盟競技種目別専門部は、前記(4)ア～ウの申込書類を取りまとめて、各都道府県高等学校体育連盟会長あてに提出する。

ウ 各都道府県高等学校体育連盟会長は、前記(4)ア～ウの申込書類を一括して、下記の申込先へ簡易書留郵便で申し込むこと。

なお、役員等の申込みについては、「参加者へのご案内（宿泊編）」を参照のこと。

(6) 申込先

〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂 4 - 3 - 18 県立文書館 1 階

彩夏到来 08 埼玉総体配宿センター

TEL 048 - 710 - 4961 FAX 048 - 710 - 4962

(7) 宿泊申込金の振込

ア 申込責任者は、宿泊決定通知書を受領後 3 日以内に、宿泊申込金を指定の金融機関口座に振り込むこと。

宿泊申込金 選手・監督 1 名につき 20,000 円（泊数に関係なく一律）

役員等 1 名につき 10,000 円（泊数に関係なく一律）

・宿泊申込金は、宿舎での宿泊料金、取消料金の一部として充当する。

イ 振込先

競 泳 飛 込	指 定 銀 行	みずほコーポレート銀行 十二号支店
	口 座 番 号	普通 1150856
	口 座 名 義	株式会社 JTB 首都圏
水 球	指 定 銀 行	みずほコーポレート銀行 十二号支店
	口 座 番 号	普通 1150864
	口 座 名 義	株式会社 JTB 首都圏

なお、配宿センターは、JTB 首都圏、近畿日本ツーリスト、レイワ総合企画、埼玉県ホテル旅館生活衛生同業組合の 3 社 1 団体で運営しています。

(8) 斡旋の制限

ア エントリーされた選手・監督および引率責任者は、配宿センターを通して配宿を受けること。配宿センター以外のルートでの宿泊斡旋はしない。

イ 前記(2)に違反があった場合は、(財)全国高等学校体育連盟各専門部及び都道府県高等学校体育連盟が当該校に対して指導を行う。

(9) 申し込みの変更及び取り消し

申込数、入宿日等の変更及び取り消しがある場合には、次のとおりとする。

ア 入宿前について

- ・ 宿泊決定通知書が到着する前は、申込責任者が必ずファクシミリで、前記(6)の申込先へ連絡するものとする。
- ・ 宿泊決定通知書が到着した後は、申込責任者が必ずファクシミリで、前記(6)の申込先及び宿舎へそれぞれ連絡するものとする。
郵便及び電話での連絡は受け付けないものとする。

イ 入宿後について

会計責任者が直接宿舎へ速やかに申し出るものとし、その効力の発生は申し出のあった日時とする。

(10) 申込み期限

8月1日(金)正午 必着

(11) その他

詳細については「参加者へのご案内(宿泊編)」を参照のこと。

14. 諸会議

会議名		月日	時間	会場
組合せ会議	競泳	7月28日(月)～8月4日(月)		川口市青木町公園総合運動場プール
	飛込	8月4日(月)	10時00分～	川口市青木町公園総合運動場プール
	水球	8月4日(月)	13時30分～	川口市立婦人会館(会議室)
水泳専門部常任委員会		8月16日(土)	11時00分～	浦和ワシントンホテル
監督者会議	競泳	8月16日(土)	16時00分～	川口総合文化センター(リリア)
	飛込	8月16日(土)	16時00分～	川口総合文化センター(リリア)
	水球	8月16日(土)	16時00分～	パレスホテル大宮(会議室)
全国高体連水泳専門部会		8月17日(日)	18時30分～	川口総合文化センター(リリア)
全国高体連飛込委員会		8月18日(月)	18時00分～	川口総合文化センター(リリア)
全国高体連水球委員会		8月18日(月)	18時00分～	パレスホテル大宮(会議室)

15. 練習会場日程表

競技	場所	期間						
		15日 (金)	16日 (土)	17日 (日)	18日 (月)	19日 (火)	20日 (水)	
競泳	川口市青木町公園総合運動場プール <本会場>	9:00～18:00		7:30～9:00	7:30～9:15			
	競技終了後～18:00			———				
	川口市青木町公園総合運動場プール <サブプール>	7:30～18:00			7:30～15:00			
飛込	川口市立川口総合高等学校	9:00～17:00					9:00～14:00	
	埼玉県立川口工業高等学校							
飛込	川口市青木町公園総合運動場プール <飛込プール>	9:00～18:00		7:00～9:00 自由練習	7:00～ 競技開始30分前まで自由練習			
				競技のない時間帯及び 競技終了後～18:00まで 自由練習				
水球	埼玉県営大宮公園水泳競技場 <メインプール>	13:00～17:00	9:00～17:00	開場～競技開始まで 第1試合の両チーム 競技終了後～19:30 時間割当				
	埼玉県営大宮公園水泳競技場 <飛込プール>	時間割当	時間割当	時間割当				
	埼玉県営大宮公園水泳競技場 <サブプール>	9:00～18:00 自由練習						

16. 連絡事項

(1) プログラムの無償配布は、全国高等学校総合体育大会開催基準要項によるが、参加校については選手数に応じ次のとおりにする。

1名～5名……1部 6名～10名……2部 11名以上……3部

(2) 競技中の疾病・負傷などの応急処置は主催者側において行うが、その他の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証を持参すること。

(3) 引率責任者は選手の行動に対して責任を負うものとする。

(4) 競泳の開会式への出場選手数は、各ブロックから男子10名、女子10名、計20名とする。

また、閉会式は表彰を受けるチームと開催ブロック選手団から編成する。

(5) (財)日本水泳連盟選手登録済のIDカードを持参すること。(記録認定で必要)

(6) 案内所は、大会期間中、競技会場(青木町公園総合運動場)に設置する。

(7) その他

ア 大会期間中における本会場の開門時間は、原則として練習会場日程表中の使用開始時間とする。

イ 競泳・飛込の本会場での練習については、大会2日前から許可する。

ウ 水球会場については、8月15日(金)から時間割り当をする。

エ プライベートテントは指定された場所でのみ許可する。

オ 会場・宿舍およびその周辺には駐車場が少ないため、なるべく公共交通機関を利用すること。

カ 大会会場の入場については監督者会議で連絡する。

キ 青木町公園総合運動場プールのスタンドの割り振りについては、別途計画し、監督者会議で示す。